

# 〇〇市 〇〇地区(または〇〇自主防災組織)地区防災計画(都市部版)



## 1. 基本情報(〇〇年〇月〇日現在)

〇〇地区 (または〇〇自主防災組織)	
自主防災会 会長	〇〇 〇〇
自主防災会 副会長	〇〇 〇〇

年間 スケジュール	
4月	
5月	
6月	・土砂災害対策訓練

災害履歴
(地震による被害)
・1854年12月23日(第〇年) 安政東海地震 〇〇地域、〇〇地域 家屋倒壊〇戸
・2009年8月11日(平成21年) 駿河湾を震源とする地震 〇〇地域、〇〇地域で土砂崩れ。
・2011年3月11日(平成23年) 東日本大震災

過去の災害被害を知る

## 目的: 市街地の危険箇所にも備える!

8月	
9月	・総合防災訓練
10月	
11月	
12月	・地域防災訓練
1月	
2月	
3月	・津波避難訓練

参加の呼びかけ

・1974年7月7日(昭和49年) 七夕豪雨 〇〇地域、〇〇地域で浸水被害。 床上〇戸、床下〇戸 〇〇山で土砂崩れ。 全壊〇戸、半壊〇戸
・2022年9月23日(令和4年) 台風15号 〇〇地域、〇〇地域で浸水被害。 床上〇戸、床下〇戸 全域で断水

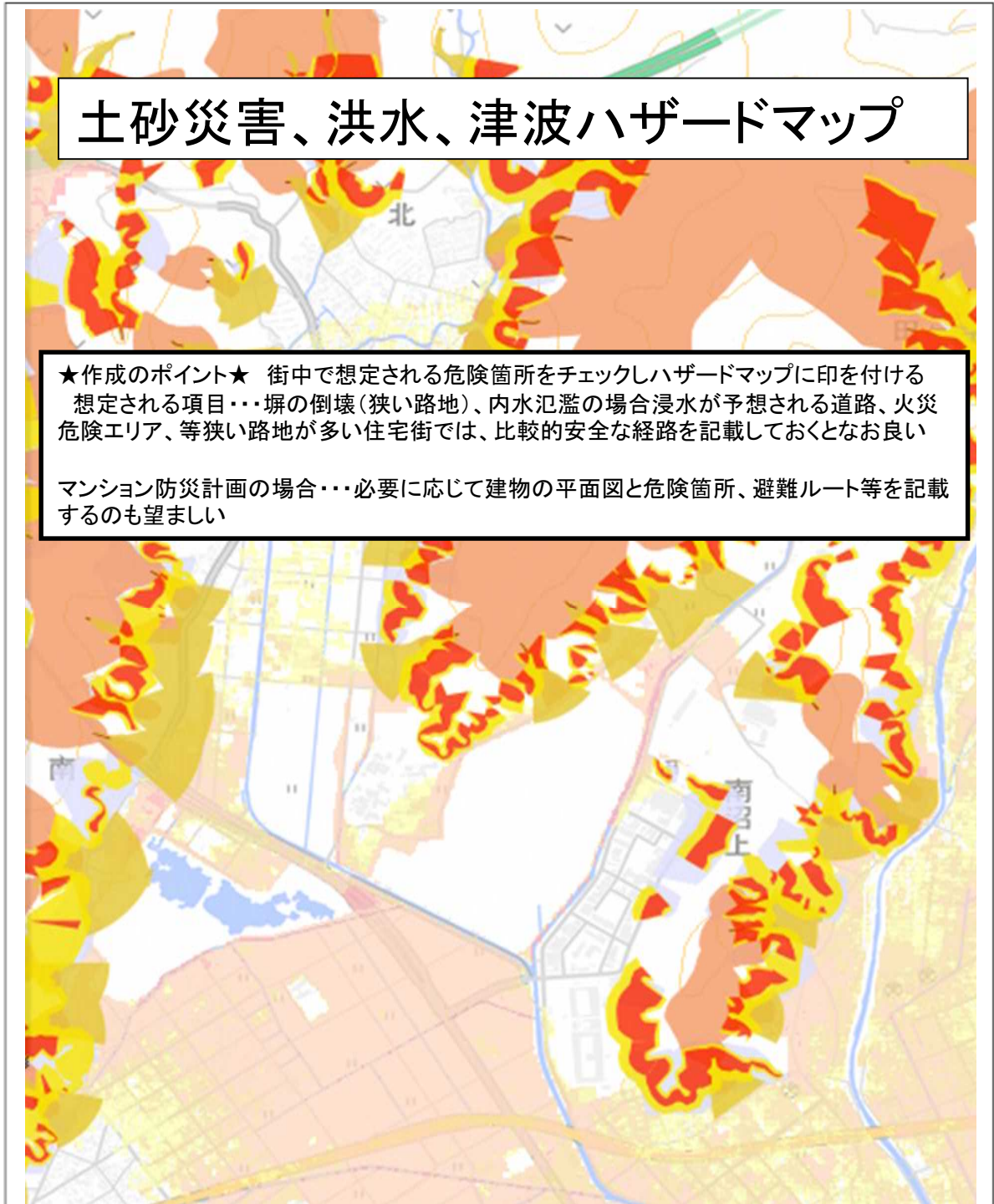
緊急連絡先	
自主防災会会長	〇〇 〇〇
自主防災会副会長	〇〇 〇〇
〇〇病院	#####-##-#####
〇〇メディカルセンター	#####-##-#####
〇〇医院	#####-##-#####

## 2. ハザードマップ(〇〇年〇月〇日現在)

### 土砂災害、洪水、津波ハザードマップ

★作成のポイント★ 街中で想定される危険箇所をチェックしハザードマップに印を付ける  
 想定される項目・・・塀の倒壊(狭い路地)、内水氾濫の場合浸水が予想される道路、火災危険エリア、等狭い路地が多い住宅街では、比較的安全な経路を記載しておくとなお良い

マンション防災計画の場合・・・必要に応じて建物の平面図と危険箇所、避難ルート等を記載するのも望ましい

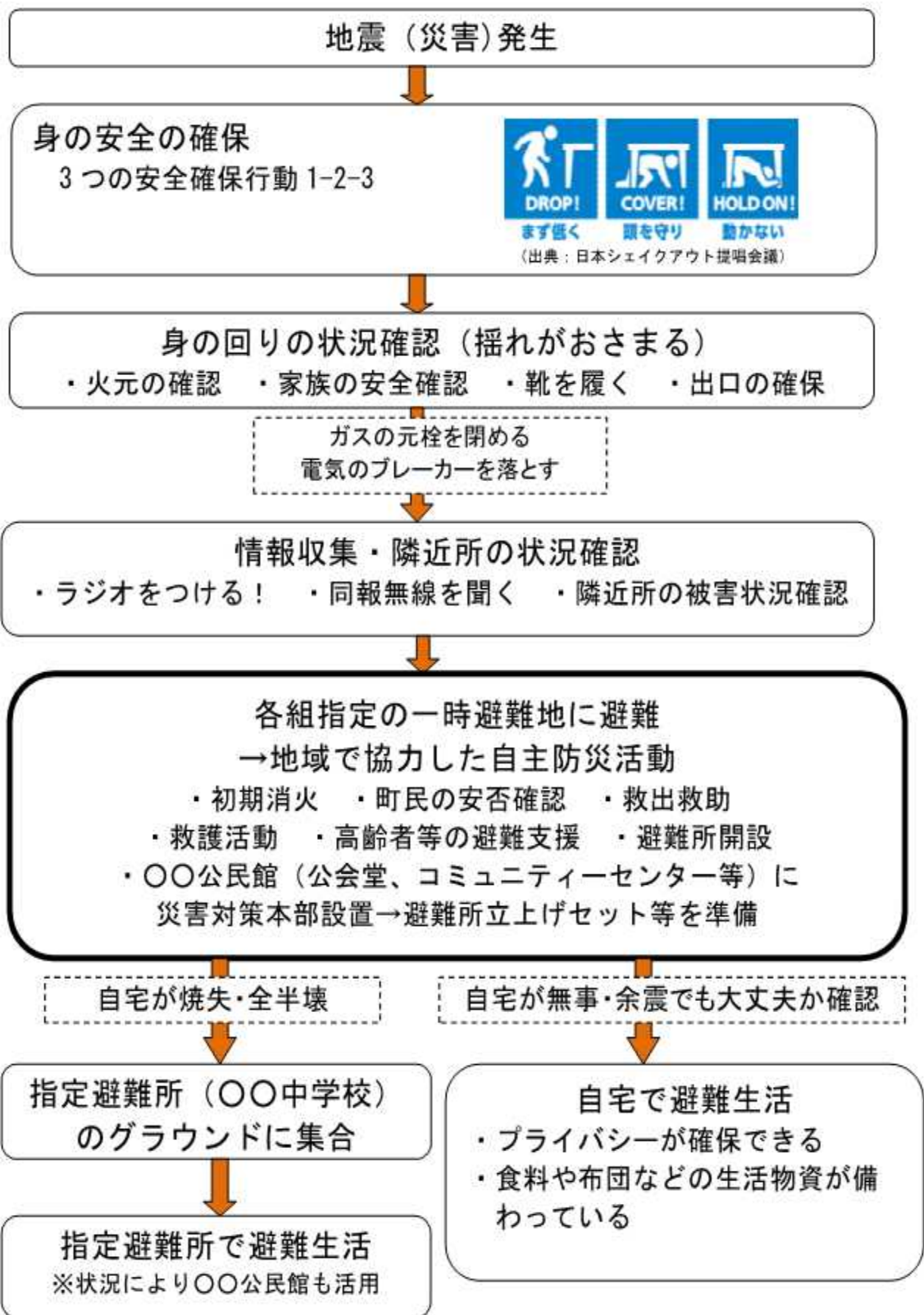


避難場所連絡先			その他連絡先(役所、消防、警察等)		
施設名	住所	電話番号	施設名	住所	電話番号
避難所連絡先					
施設名	住所	電話番号			





## 5. 災害発生時の避難行動



## 6. 自主防災組織の体制(警報発表時等の参集・配備)

### ●大雨・洪水レベル3発表時

各自が気象状況や避難情報、避難所開設情報等を収集、自主防災組織のLINEグループ等において共有→判断に応じて〇〇公民館(コミュニティセンター等)に参集・対応開始する。

### ●大雨・洪水レベル4発表時

身の安全を優先した対応に切り替え、引き続き、LINEグループ等で町内の情報収集を行う。

### ●大雨・洪水レベル5発表時

すでに災害が発生しているものとし、安全の確保を最優先とする。その上でLINEグループ等で情報共有をす行う。

※最新の気象情報を確認しながら、今後の対応についてLINEグループ等で相談する。

### ●地震(震度5強以上)

各自が地震と家族の安全が確認できたら公民館(コミュニティセンター等)に参集。救出救護・火災活動や被害確認等にあたる。

### ●津波(津波警報・大津波警報)

各自津波避難場所、高台、津波避難施設へ避難。事前に決めた防災委員、又は、協力住民により避難行動要支援者を避難させる。安全が確認できたら公民館(コミュニティセンター)に参集。救出救護・消火活動や被害確認等にあたる。



## 8. 平時からの確認・検討事項

以下の項目について平時から自主防災組織で話し合い、対応方針等を検討・確認する。

建物倒壊の場合

対応方針等

大規模浸水の場合

対応方針等

火災発生の場合

対応方針等

通信障害の場合

対応方針等

大規模断水の場合

対応方針等

長期間の停電の場合

対応方針等

帰宅困難者（地区外）の対応

対応方針等

その他

対応方針等

※平時から行政（市町）や関係機関と連携し、対応方針等を共有する。



## 9. 家族・個人の取組

備蓄の確保 常時7日以上を確保

通信・電源（ライフライン）が喪失した場合でも、各戸生活が可能な準備を！

7日分以上の非常食

7日分以上の水

カセットコンロ、カセットボンベ、着火剤（ライター等）

衣類

7日分以上の携帯トイレ（断水した場合）「1人1日 **5回** × **7日分** × 家族の**人数**」

携帯ラジオ

充電器 ※非常用発電機が地区にある場合

※ローリングストックをし、消費しながら備蓄品を毎年更新しよう！



家具を固定しよう！

家族で、家と周辺の危険箇所・避難経路を確認し、共有していこう！

「わたしの避難計画」の作成をしよう！

周囲の音や異変に気づいたら、危険箇所から速やかに早く離れ、身の安全を図る。

「わたしの避難計画」の作成

**//全ての家庭で実践//**

<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040812/1029856.html>

